

第 3 回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

■趣 旨

地方創生を進めていくにおいて、「大学と企業等との協働による魅力ある就職先の創出」や「地域が求める人材の養成」など、地元の大学の役割が大いに期待されている。

三重大学では、「地域人材の育成と若者を地域に留め置く機能の強化」、「研究成果を地域に還元する機能と、地域のさまざまな主体のハブとなる機能の強化」、「地域力の発信機能の強化」の3点を大きな戦略として掲げ、また、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択を受けるなど、積極的に地方創生に取り組んでいる。

地元の大学がどのように地域と関わり地方創生に取り組んでいくのか、ということについて理解を深め、地元の大学という側面から地方創生を考えることにより、地方創生という政策課題を考える一助とする。

■日時・場所

平成 28 年 1 月 18 日（月） 13:00～14:30

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■講師・演題

「地方創生と三重大学の役割」

講師：三重大学学長 駒田美弘（こまだ よしひろ）氏

【講師紹介】

○駒田美弘（こまだ よしひろ）氏

三重県津市出身。1952年生まれ。

三重大学大学院医学系研究科博士課程修了。

医学系研究科臨床医学講座小児科学分野教授。

小児がんの研究に携わるなど、小児科医として歩み平成27年4月1日より三重大学第12代学長に就任。

大学の学則に地域や地域貢献という言葉がないことから、学則の中に「地域の諸特性に応じた福祉と文化の進展に寄与する」という文言を入れ、「三重大学は地域貢献を目指す」とし、地域貢献に取り組む決意を示した。

